

本単元で育む主な情報活用能力

**B-STEP 2, C-STEP 2  
D-STEP 2, H-STEP 2**

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・水についてこれまで学習してきたことや調べたことから問題点を見つけ、その解決方法を考え、自分の考えを表現する。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・自分の考えや意見の根拠となる情報を集める。
- ・集めた情報を整理し、相手に伝わりやすい情報を取捨選択する。

単元における学習の展開（全 12 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	<p>〇「どんなときに水を使っているのかを考え、水がどこからくるのか予想する。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが毎日どれぐらい水を使っているのか調べる。</li> <li>・自分たちの身近な水がどこからやってくるのか考える。</li> </ul>
第 2 次 (7 時間)	<p>〇「水道の蛇口からもとをたどり、水をきれいにするためにどのような工夫をしているのか調べる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の蛇口から出る水がどこから来ているのか調べる。</li> <li>・浄水場や下水処理場の動画を見て、その仕組みを知る。また、働く人々の工夫や努力を知る。</li> <li>・淀川から水を取っていることを知り、その先に琵琶湖があることを知る。</li> <li>・出前授業を受けて自然の中の水の存在について知り、水が循環していることに気づく。</li> </ul>
第 3 次 (3 時間)	<p>〇「くらしにかかせない水を大切にするためにできることをポスターにまとめよう」(☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきたことや調べたことから自分が呼びかけたい問題とその解決方法について考える。(本時)</li> <li>・みんなに呼びかけたいことについて本やタブレットを使ってポスターにまとめる。</li> <li>・よびかけポスターの交流をする。</li> </ul>

本時のねらい

- ・水に関する問題点について本やタブレットで調べ、自分の考えをまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を振り返り、水に関して問題だと思ったことを発表する。</li> <li>・本やタブレットで問題だと思った自分の考えの根拠となる情報を探し、ワークシートと情報カードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報カードの書き方を復習しておく。</li> <li>・クラゲチャートの書き方を説明する。</li> <li>・円グラフや棒グラフを書く用紙を用意しておく。</li> </ul>
展開 (35分)	<p>2. 本やタブレットで水の問題について調べ、調べたことをクラゲチャートを使ってまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えた問題点をクラゲの頭に書き、クラゲの足の部分にはその理由として考えられることを書く。</li> <li>・本やタブレットでその理由の根拠となる情報を集め、情報カードに書く。</li> <li>・複数の情報からわかったことを整理し、考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報カードに書いた情報だけでは足りない場合に備え、本を用意しておく。</li> <li>・文章にまとめるときは、複数の情報を使うように伝える。</li> <li>・グラフや表を活用することでわかりやすいポスター作りができるということを知らせる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<p>3. 今日の学習を振り返り、次の時間の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時では本やタブレットを使ってさらに情報を集め、解決方法まで考えることを知り、次時の見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間に必要になりそうな資料があるか児童に尋ね、必要な資料がある場合は準備しておく。</li> </ul>

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・くらげチャートを使うことで、水に関する問題点とその理由を視覚化させ、考えをまとめやすくなった。
- ・情報カードのほかに、円グラフや棒グラフを書くための用紙を用意し、書くために必要な時間を短縮できるようにした。
- ・新しいグラフや表が掲載された本を地域の図書館と連携して用意した。
- ・タブレットで検索するためのキーワードなども紹介し、児童が自分に必要な情報を探しやすくなった。



文章から読みとったことを表に整理している